



人とともに 地域とともに
国立大学法人
島根大学

不二製油

FUJI OIL HOLDINGS INC.

ニュースリリース

2021年12月06日

お問い合わせ先

岡本 祥治

広報グループリーダー

Email kouhou@so.fujioil.co.jp

**DHA 297 mg の摂取が高齢者の認知機能低下抑制だけでなく骨折リスク軽減にも効果
—島根大学および加藤病院との研究を Journal of Oleo Science で発表—**

国立大学法人島根大学(学長：服部 泰直)、社会医療法人仁寿会加藤病院(理事長・病院長：加藤 節司)、不二製油グループ本社株式会社(代表取締役社長：酒井 幹夫)および不二製油株式会社(代表取締役社長：大森 達司)は、Journal of Oleo Science に以下の内容を論文掲載いたしました。

高齢者人口が増加する先進国を中心に、世界規模で認知症などを含む加齢性疾患の罹患数が増加しています。加齢性疾患は患者だけでなくその介助者の Quality of Life も大きく低下させます。そのため、この高齢者の健康課題を解決し、ウェルビーイングを実現することを目指し、DHA の機能性に注目して研究して参りました。不二製油が独自技術で開発した酸化安定性に優れた DHA 含有油脂(プロレア®)の加齢性疾患への影響を評価した結果、DHA として少量の 297 mg を配合した DHA 強化乳飲料を 1 日当たり 200 mL、12 カ月間摂取することで、加齢に伴う認知機能の低下を抑制すると共に、血清中骨破壊マーカーを減少させることが明らかになりました。骨破壊マーカーの減少は骨粗しょう症や骨折リスクの軽減につながると考えられています。本結果は、プロレア®を用いた DHA 強化乳飲料の摂取が高齢者のウェルビーイング向上に貢献できるものと期待しております。なお、本研究結果は 2020 年 9 月の Journal of Functional Foods に掲載された論文に次ぐ続報であり、サブ解析結果をまとめたものです。

本研究成果は 2021 年 12 月 1 日に Journal of Oleo Science に掲載されました。

掲載先 URL :

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jos/advpub/0/advpub_ess21195/_article

論文タイトル

Intake of Docosahexaenoic Acid-Enriched Milk Beverage Prevents Age-Related Cognitive Decline and Decreases Serum Bone Resorption Marker Levels

(DHA 強化乳飲料の摂取は加齢に伴う認知機能の低下を抑制し、さらに血清中骨破壊マーカーを減少させる)

筆頭著者

市瀬 高志 (不二製油グループ本社株式会社 未来創造研究所)

共同研究代表者

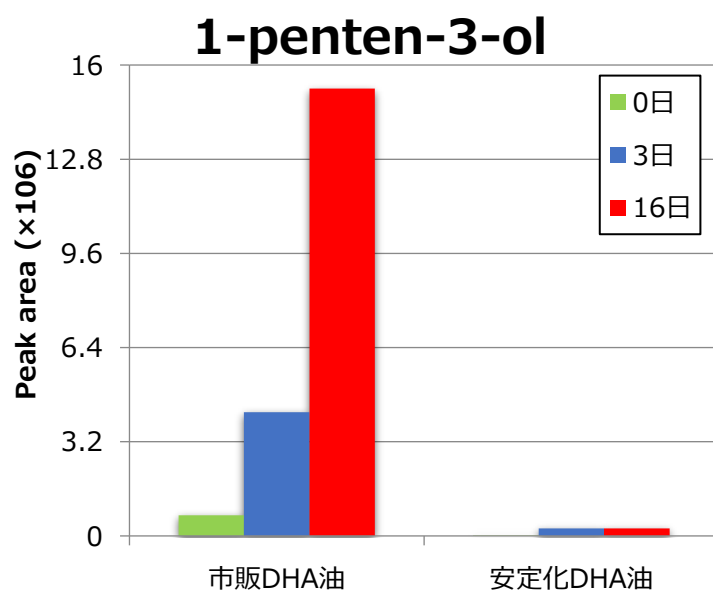
橋本 道男 (国立大学法人島根大学 医学部 環境生理学講座 客員教授)

加藤 節司 (社会医療法人仁寿会 加藤病院 理事長・病院長)

DHA

魚介類に多く含まれているDHAは、様々な器官に存在している重要な脂肪酸の1つです。認知度が高く、最も健康優位性が明確な栄養素とされ、様々な国や団体から日常的な摂取が推奨されています。しかし日本では、食の変化に伴い多くの世代でDHAの摂取不足が深刻化しています。

プロレア®



弊社では、油脂に難溶性の抗酸化物に着目し、従来難しかったレベルの酸化安定性を DHA 含有油脂にもたせることが可能になり、DHA の食品への利用が可能となりました。危害物質の少なさをサステナビリティの側面から、“培養生産される藻類油”を DHA の原料に選んでいます。

また、弊社は産学連携によるオープンイノベーションを推進し、最新のシーズを取り入れた上で、市場ニーズに応じてまいります。

- 以上 -

不二製油グループ本社株式会社について

不二製油グループは、植物性食品素材で「食」の課題を解決する PBFS (Plant-Based Food Solutions) をコンセプトに、4つの事業（植物性油脂、業務用チョコレート、乳化・発酵素材、大豆加工素材）を展開しています。「人のために働く」という価値観のもと、植物性原料の持つ力を最大限に引き出し、「サステナブル」かつ、心と体の健康に寄与する「おいしさ」によって、世界中の消費者・顧客や社会に貢献してまいります。

<https://www.fujioilholdings.com/>